

入学試験概要

【総合型選抜】

A方式〔自己PR型〕(1期～4期)

B方式〔実技・小論文型〕(1期～4期)

C方式〔実技・小論文型〕(1期・2期)

D方式〔探究活動成果報告型〕(1期・2期)

E方式〔基礎学力検査型〕(1期のみ)

オンライン個人面接方式(1期・2期)

【学校推薦型選抜】

一般推薦入学試験

【一般選抜】

一般入学試験(1期・2期)

大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期)

【特別選抜】

芸術学部エキスパート入学試験

社会人&シニア入学試験(1期・2期)

海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

外国人留学生入学試験(1期・2期)

〔オンライン方式〕社会人&シニア入学試験(1期・2期)

〔オンライン方式〕海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

〔オンライン方式〕外国人留学生入学試験(1期・2期)

3年次編入学試験(1期～3期)

入学試験概要

【総合型選抜】A方式〔自己PR型〕(1期～4期)

〔専願*〕

*学科・領域併願は可

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

※総合型選抜には、選抜方法や専願・併願可の違いにより、複数の方式があります。各方式の解説を確認いただいたうえで、ご出願ください。

A方式は、本学アドミッション・ポリシーの理解を前提に、志望理由書および面接を通じて、主体性、多様性、協働性、創造性等を問う方式としており、本学を目指す意欲、目的意識、適性等を総合的に評価します。

この方式は、全学科・領域共通の入学試験方式です。「専願」ですので、合格された場合、必ず本学に入学していただきます。

ただし、大学内の学科・領域の併願は可能です。複数の学科・領域を併願出願した場合、合格された学科・領域の中で、入学手続き期限までにどの学科・領域で入学手続きをするかを選択することが可能です。

(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
 2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
- ※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-2)

選抜方法

全学部 全学科 全領域 (1期・2期・3期・4期)

コース	選抜方法①	+	選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを除く	志望理由書(1,200字程度)(100点)		個人面接*(約15分・200点)

※調査書を参考資料とする。

●志望理由書に明示するテーマ

「大学入学志望理由書(総合型選抜A方式用)」(様式1-2)を使用し、出願する期の志望理由書に明示するテーマに沿って志望理由を記述してください。

①いずれも文字数は1,100字～1,300字の範囲内とする。

②1回の受験で複数の学科・領域を志願する場合、上記①の字数範囲内で複数の志願学科・領域の内容について記述すること。

期	試験日	明示するテーマ
1期	2024年10月19日(土)	あなたが志望している本学の学科・領域には、あなたにとってどのような魅力があると考えていますか。本学のアドミッション・ポリシーに書かれている内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
2期	2024年12月14日(土)	あなたが志望している本学の学科・領域の学びを通じて、将来どのような活躍をしたいと考えていますか。本学のアドミッション・ポリシーに書かれている内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
3期	2025年2月8日(土)	あなたのこれまでの学びや経験を本学での学びにどのように活かしていきたいと考えていますか。志望している本学の学科・領域のアドミッションポリシーの内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
4期	2025年3月18日(火)	あなたが志望している本学の学科・領域のアドミッション・ポリシーのどのような点に共感しましたか。あなた自身の具体的なエピソードを含めて、志望する理由を明確に記述してください。

入学試験概要

【総合型選抜】B方式〔実技・小論文型〕(1期～4期) 〔専願〕

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

※総合型選抜には、選抜方法や専願・併願可の違いにより、複数の方式があります。各方式の解説を確認いただいたうえで、ご出願ください。

B方式は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「**専願**」の入学試験方式です。

学科・領域ごとに、指定された実技、作品プレゼンテーションおよび小論文と面接により評価を行います。また、一部の領域を除き、主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「**活動報告書(本学所定様式)**」にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	小論文 ^{※1} (50分・200点)		個人面接 ^{※2} (約10分・100点)		プラスα加点(最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

入学試験概要

【総合型選抜】C方式〔実技・小論文型〕(1期・2期) 〔併願可〕

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

※総合型選抜には、選抜方法や専願・併願可の違いにより、複数の方式があります。各方式の解説を確認いただいたうえで、ご出願ください。

C方式は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「併願可」の入学試験方式です。

学科・領域ごとに、指定された実技、作品プレゼンテーションおよび小論文と面接により評価を行います。また、一部の領域を除き、主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
 2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
- ※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	小論文 ^{※1} (50分・200点)	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

入学試験概要

【総合型選抜】D方式〔探究活動成果報告型〕(1期・2期)〔専願〕

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

※総合型選抜には、選抜方法や専願・併願可の違いにより、複数の方式があります。各方式の解説を確認いただいたうえで、ご出願ください。

D方式は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「専願」の入学試験方式です。

高等学校もしくは中等教育学校の教育課程内の授業等での探究学習の活動成果報告と面接により、本学の学びでの将来性などから総合的に評価します。また、一部の領域を除き、主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④探究活動成果報告書 ⑤活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	「探究活動成果報告書」(200点)	+	個人面接* (約15分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

入学試験概要

【総合型選抜】E方式〔基礎学力検査型〕(1期のみ) 〔併願可〕

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

※総合型選抜には、選抜方法や専願・併願可の違いにより、複数の方式があります。各方式の解説を確認いただいたうえで、ご出願ください。

E方式は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「併願可」の入学試験方式です。

各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、基礎学力検査により評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期のみ〉

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
全コース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語、公共、家庭、情報から出願時に2科目選択		個人面接* (約10分・100点)		プラスα加点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

【英語】:英語コミュニケーションI 【数学】:数学I 【国語】:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く) 【家庭】:家庭基礎 【情報】:情報I

(本学では新教育課程による出題科目と、これに対応する旧教育課程の科目との共通の内容を出題します。)

入学試験概要

【総合型選抜】オンライン個人面接方式(1期・2期)

〔併願可〕

オンライン個人面接方式は、総合型選抜1期、2期において、**芸術学部芸術学科 芸術教養領域**および**教育学部子ども学科**の志願者のみを対象として、平日17時～21時の時間帯で希望の日時を選択してオンライン(Web面接ツール)で個人面接を実施する入学試験です。(来学不要)

オンライン環境が整っていればご自宅でも所属学校でも、オンライン個人面接を受けていただく場所は問いませんが、いずれも個室(受験者おひとりしかいない部屋・室)かつ静かな環境であることが求められます。所属学校でオンライン面接を受験する場合、必ず受験者本人が所属学校の先生の許可を得てください。

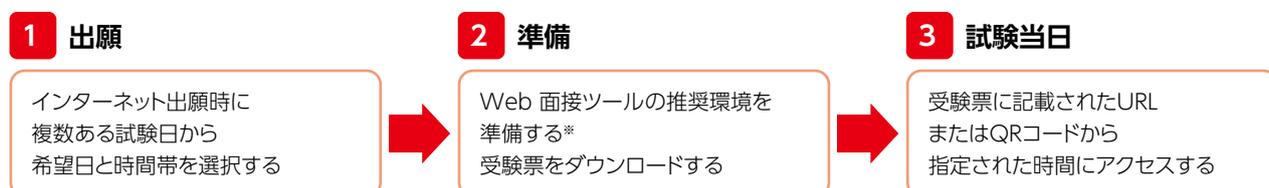
この方式は、個人面接のほか、事前課題型小論文と主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

事前課題型小論文は、学科・領域ごとに指定された課題により、小論文を書き上げ、出願書類とともに提出していただきます。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

オンライン個人面接のながれ



* Web面接ツールの推奨環境については、本学Webページをご確認ください。

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出) ⑤事前課題型小論文

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	事前課題型小論文(200点)		本学面接担当者によるオンライン個人面接 ^{※1・2} (約10分・100点)		プラスα加点 (最大50点)

※1 個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

※2 調査書を参考資料とする。

●事前課題型小論文

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

私たちが暮らす社会には様々な課題があります。あなた自身や周囲の人が感じる課題に関連し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなたが考える課題のうち、最も関心があるもの一つについて、家族以外の2名以上とディスカッションし、そのディスカッションの内容を文章でまとめてください(300字程度)。
- 2) 上記の2名以上の人々について、個人が特定されない範囲で、どのような人が簡単に説明してください。(50字程度)。
- 3) ディスカッションをし、更にその課題について調べた結果、あなたがその課題を改善もしくは解決するために、どのように芸術や情報通信技術を活用すれば良いと考えるか、第三者にも理解できるように説明してください(450字程度)。必要ならば原稿用紙とは別に、手描きの図を添えることも可能です。その場合は図をA4サイズ片面・1枚以内にしてください。

入学試験概要

【学校推薦型選抜】一般推薦入学試験

〔併願可〕

この入学試験は、在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般推薦入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者で、
学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者(卒業見込み・既卒は問わない)
2. 本学が提示した推薦基準を満たす者

推薦基準

学部・学科・領域		全体の学習成績の状況(5段階評価)
芸術学部 芸術学科	芸術教養領域	3.0以上

※10段階評価の場合は5段階に換算します。

※卒業見込み者は最終学年の1学期または前期までのもの。既卒者は高等学校最終学年までの全体平均値を対象とします。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③推薦書 ④大学入学志望理由書(様式1-1) ⑤活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉
 高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。
 (※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語、公共、家庭、情報から出願時に2科目選択	+	個人面接*(約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

【英語】：英語コミュニケーションI 【数学】：数学I 【国語】：現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く) 【家庭】：家庭基礎 【情報】：情報I
 (本学では新教育課程による出題科目と、これに対応する旧教育課程の科目との共通の内容を出題します。)

入学試験概要

【一般選抜】一般入学試験(1期・2期)

〔併願可〕

この入学試験は、高等学校等でこれまで身につけてきたスキルや学力について、実技や作品、学力試験や面接などを通じて、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般入学試験1期は「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

1期・2期とも「学科試験」を選択する場合、学科・領域間の学内併願が可能です。

なお、「個人面接」を実施する領域(音楽領域、美術領域、デザイン領域)と実施しない学科・領域(舞台芸術領域、芸術教養領域、子ども学科)を併願する場合は、「個人面接」を実施するいずれかの領域で「個人面接」を受験していただきます。

〈例〉「音楽領域」と「芸術教養領域」を併願する場合、「個人面接」は音楽領域として受験。

(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。

(第1志望のみでも構いません。) 〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

美術領域 分類

(Ⅰ類:日本画コース、Ⅱ類:洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類:コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類:美術総合コース)

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期〉

コース	選抜方法
リベラルアーツコース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選抜方法
リベラルアーツコース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

【英語】：英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 論理・表現I 【数学】：数学I, 数学A 【国語】：現代の国語, 言語文化(漢文は除く)

【歴史】：歴史総合, 日本史探究または、歴史総合, 世界史探究 【情報】：情報I

(本学では新教育課程による出題科目と、これに対応する旧教育課程の科目との共通の内容を出題します。)

入学試験概要

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期)〔併願可〕

この入学試験は、各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、主に大学入学共通テストの結果により評価を行います。個別学力検査の実施はありません。(来学は不要です。)各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

1期・2期・3期とも学科・領域間の学内併願が可能です。(科目が指定されている場合は当該科目の受験が必要となります。)
 (※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者で、「令和7年度大学入学共通テスト」の教科(科目)で、本学が指定した教科(科目)を受験した者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票(大学入学共通テスト成績請求票(私立大学用)を貼付) ②調査書

本学が利用する大学入学共通テスト科目一覧

以下の科目を利用します。

旧教育課程履修者等に対する経過措置の対応が可能です。希望される場合は、出願手続きの前までに、学生募集チームまでお問合せください。

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

【表1】

教科	科目
国語	①国語(近代以降の文章) ②国語(古典:古文・漢文)
地理歴史	③地理総合,地理探究 ④歴史総合,日本史探究 ⑤歴史総合,世界史探究 ⑥地理総合/歴史総合/公共
公民	⑦公共,倫理 ⑧公共,政治・経済
数学	⑨数学Ⅰ,数学A ⑩数学Ⅰ ⑪数学Ⅱ,数学B,数学C
理科	⑫物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 ⑬物理 ⑭化学 ⑮生物 ⑯地学
外国語	⑰英語(リーディング) ⑱英語(リスニング) ⑲ドイツ語 ⑳フランス語 ㉑中国語 ㉒韓国語
情報	㉓情報Ⅰ

※①国語(近代以降の文章)と②国語(古典:古文・漢文)はそれぞれ別の科目として独自に設定しています。

※①～⑳の科目はそれぞれ100点に換算します。

※⑰英語(リーディング)と⑱英語(リスニング)はそれぞれ別の科目として独自に設定しています。

【特別選抜】エキスパート入学試験

〔併願可〕

エキスパート入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、エキスパート入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

1. 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

※ (6) で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで申し出てください。
4. 外国において、次のいずれかの資格を2023年または2024年に取得した者
 - (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から大学入学資格として認められている国際バカロレア資格
 - (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - (4) グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格または、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - (5) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパアン・バカロレア資格を有する者

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書 (様式不問。本学所定の様式を活用しても可)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選抜方法①	選抜方法②
リベラルアーツコース	レポート 〔講義受講(20分) + 文章読解(20分) + レポート作成(60分) + 口頭発表(2~3分)〕 (200点)	ディスカッション (受験者人数により最大60分・ 100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、日本の大学を志す受験者として相応しい基礎学力と日本語の読解力・聞き取り力をみることを想定しています。日本の高校までの教育で身につけるべき語彙や基礎学力を備えていれば理解可能な講義内容や、読解可能な文章です。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、複雑な物事を把握する力、「レポート作成」「口頭発表」では、自分の頭で考え独創的に発想し、それを表現する力をそれぞれ重視します。

選抜方法②では、ディスカッションを通じて表現力や傾聴力等、いわゆる「人と人をつなぐ力」を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具

入学試験概要

【特別選抜】社会人&シニア入学試験(1期・2期) 〔併願可〕

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、社会人&シニア入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

2025年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1~3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者
 - ※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 外国人留学生に該当しない者
 - ※ここで言う「外国人留学生」とは〔留学〕の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文*(50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【特別選抜】海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

〔併願可〕

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身についた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、海外帰国生徒入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者ととも2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1~4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2023年4月1日から2025年3月31日までに修了(見込み)の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に2023年または2024年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2023年または2024年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについても可。)
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
※4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)		小論文*(50分・200点)		個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【特別選抜】外国人留学生入学試験(1期・2期) [併願可]

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身についた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、外国人留学生入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2025年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2025年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認められた者
※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者
 - ※試験結果は、2022年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。
 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語]において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書
⑥身分を証明する書類 ⑦日本語能力レベルを証明する書類 ⑧経費支弁書 ⑨日本語学校等の卒業(見込)証明書等
⑩提出書類チェックリスト

※⑨は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)		小論文*(50分・200点)		個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【特別選抜】〔オンライン方式〕社会人&シニア入学試験(1期・2期)〔併願可〕

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、社会人&シニア入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

2025年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1~3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2025年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者
 - ※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 外国人留学生に該当しない者
 - ※ここで言う「外国人留学生」とは〔留学〕の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥事前提出課題

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)		事前課題型小論文(200点)		オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

(1期・2期共通)

音楽やデザイン等を含む芸術や、インターネット等の情報通信技術を用いることで、社会課題を解決することを掲げる会社やNPO法人は多数あります。それらについて調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) 調査した会社等(個人ではなく複数人で構成される組織)のうち、あなたが最も興味を持ったものの正式名称を記してください。
- 2) 1)で記した組織が何をしているか、その組織のことを全く知らない人が理解できるように、あなた自身の言葉で説明してください(300字程度)。
- 3) あなたが興味を抱いた理由を、あなた自身の社会経験もしくは日本以外での経験をふまえたうえで、第三者にも伝わるよう説明してください(500字程度)。

入学試験概要

【特別選抜】【オンライン方式】海外帰国生徒入学試験(1期・2期)【併願可】

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身についた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、海外帰国生徒入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者ととも2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1~4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2023年4月1日から2025年3月31日までに修了(見込み)の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に2023年または2024年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2023年または2024年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。)
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
※4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥事前提出課題

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①	+	選抜方法②	+	選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)		事前課題型小論文(200点)		オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

(1期・2期共通)

音楽やデザイン等を含む芸術や、インターネット等の情報通信技術を用いることで、社会課題を解決することを掲げる会社やNPO法人は多数あります。それらについて調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) 調査した会社等(個人ではなく複数人で構成される組織)のうち、あなたが最も興味を持ったものの正式名称を記してください。
- 2) 1)で記した組織が何をしているか、その組織のことを全く知らない人が理解できるように、あなた自身の言葉で説明してください(300字程度)。
- 3) あなたが興味を抱いた理由を、あなた自身の社会経験もしくは日本以外での経験をふまえたうえで、第三者にも伝わるよう説明してください(500字程度)。

入学試験概要

【特別選抜】〔オンライン方式〕外国人留学生入学試験(1期・2期)〔併願可〕

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、外国人留学生入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2025年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2025年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認められた者
※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者
 - ※試験結果は、2022年4月以降に受験し、出願時まで取得したものを有効とします。
 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU)【科目:日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書
⑥事前提出課題 ⑦身分を証明する書類 ⑧日本語能力レベルを証明する書類 ⑨経費支弁書
⑩日本語学校等の卒業(見込)証明書等 ⑪提出書類チェックリスト
※⑩は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

音楽やデザイン等を含む芸術や、インターネット等の情報通信技術を用いることで、社会課題を解決することを掲げる会社やNPO法人は多数あります。それらについて調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) 調査した会社等(個人ではなく複数人で構成される組織)のうち、あなたが最も興味を持ったものの正式名称を記してください。
- 2) 1) で記した組織が何をしているか、その組織のことを全く知らない人が理解できるように、あなた自身の言葉で説明してください(300字程度)。
- 3) あなたが興味を抱いた理由を、あなた自身の社会経験もしくは日本以外での経験をふまえたうえで、第三者にも伝わるよう説明してください(500字程度)。

【特別選抜】3年次編入学試験(1期～3期)

〔専願〕

この入学試験は、短期大学や専門学校卒業者で更に学びを深めたい者、あるいは、4年制大学に在籍しつつも本学が抱える音楽・舞台芸術・美術・デザイン・芸術教養・子どもの6つの学科・領域への専攻変更を希望する者を対象に、既に所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集コース

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース

出願資格

下記の1～7のいずれかを満たす者で、本学第3年次への編入学を希望する者

1. 日本の大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上を取得した者および2025年3月末日までに大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上取得する見込みの者(本学在学者は除く)
2. 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2025年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2025年3月末日までに卒業見込みの者
4. 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2025年3月末日までに修了見込みの者
5. 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者および2025年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2025年3月末日までに修了見込みの者
7. 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2025年3月末日までに修了見込みの者

外国人留学生出願資格

前頁出願資格1～7のいずれかを満たす者で、かつ、下記の1～4のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能なる者(特別永住者を除く)
2. 2025年4月1日現在満20歳以上の者
3. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
4. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2022年4月以降に受験し、出願時まで取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語]において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
- (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類 (※外国人留学生の方は、[「外国人留学生の方へ」](#)項目の「提出書類」に該当する書類も併せて提出してください。)

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書*1 ④大学入学志望理由書(様式1-1) ⑤履歴書

※1 出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

- a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2025年3月までに卒業・修了見込の者
→ **卒業・修了(見込)証明書および成績証明書**
- b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2025年3月までに修得見込の者
→ **在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書**
- c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2025年3月までに修了見込の者
→ **専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書**

選抜方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 (1期・2期・3期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文*(50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。